

翔

第15号 (平成11年11月1日)



第11回 初春の集い

平成十一年一月十七日、和倉温泉「あえの風」でにぎやかに行われました。今年は「装い」「帯結び」「トータル之美」の各コンテストが、一同に出席者の前で、目ごろの技術を披露。学院長や出席者全員で審査投票するという緊張の中にも華やかさいっぱいの中で行われました。

装いコンテスト 道坂ひとみ

コンテスト出場までの二週間という期間は、着付への取り組み姿勢を改めて考えさせられた大変有意義なものとなりました。週に一度の稽古で満足するといふなんともふがいない姿勢のおかげで、ほとんど毎晩稽古の日々でしたが、結果このような素晴らしい賞をいただくことができました。

時間内になんとか出来ても、仕上がりが...だったり、正確に出来ても時間切れだったり、私たちの今後の着付に対する自信につなげていきたいと思えます。ありがとうございました。



ご臨席賜りありがとうございました

トータル之美コンテスト 石川 勝子

モデルは十六才の現役高校生それも私たちの仲間です。可憐で初々しいイメージを！と赤い地色の振袖にしました。帯はグリーンで立矢系に熨斗結びを入れて作ってみました。

モデルは良！ 着物も良！ 後は着付の腕だけです。

コンクール当日の朝まで練習しましたが、納得のいく着付けが出来ずモデルさんには気の毒でしたが私達二人出場辞退とまで、考えましたが仲間のはげましでどうにか出場。汗をかきながらですがなんとか完成することが出来ました。



開票風景



審査風景



着付風景



装いコンテスト



帯結び

装いコンテスト出場者

◇装いコンテスト 入賞

道坂ひとみ、北野 美樹、北野 美和（ケイ・きもの着付教室、鳥屋町）

◇帯結びコンテスト

▽入賞 堀田 恵、沢田 愛（金沢きもの着付教室、金沢市）

◇トータルの美コンテスト

▽優秀賞 山本 民子、吉本みちえ、西野 聡美（金沢講師会・紅梅、金沢市）

▽2位 安達ヒロミ、関 裕美、亀野 佳恵（同）

▽3位 水瀬あい子、星場 徳子、森下 千歳（むすび着物着付教室、氷見市）

▽翔（はばたき）賞 中原 利美、武生 政子、北川ゆき江（金沢講師会・胡蝶蘭、金沢市）

▽アイデア賞 清水 厚子、高木 智枝、広沢ひろみ（森千代子きもの着付教室、七尾市）



平成11年1月3日(日)

パトリア

第2回 パトリア 新春着物の集い



一月三日パトリアに於いて今年で二回目を迎える新春着物の集いが華やかに開催されました。今回は花・唄・着物をテーマに繰り広げられ、男性のモデルにも参加いただきました。初春の一層あでやかな着物姿に歓声がわきました。

伝えたい着物の魅力

春直呉服店 春木 直樹

着物というと、どうしても女性のものといったイメージが強いのですが、男性の着姿も捨てたものではありません。

最後に帯を締めあげて背筋をシャッと伸ばすと、普段は得られない心地よい緊張感がみなぎってきます。

最近「簡単」であることを最上とするふしもありますが、手間をかけた喜びが二倍三倍になるものもあります。着物もそうではないでしょうか。

着付けたときの何ともいえない心持ちを、多くの男性の方々にお伝えできれば……。そう思っておりますので、とてもよい体験になりました。お声をかけてくださった皆様方、本当にありがとうございました。

「新春着物ショー」に参加して

清水美奈江

十二月から着付を習い始め、一ヶ月もたないうちに「着物ショー」に参加する話をいただき、何事も勉強と思い先輩の方に着せていただくモデルとして参加させていただきました。当日の朝、大勢の教室の方が集い、何も分らない私に何人もの方が声をかけて下さり、教室の雰囲気、の暖かさを感じました。舞台の裏は慌しいものですが、その中でショーの歩き方をその場で、山原先生がその人に合わせた振付けを数分でさ

れ、二回ほどで本番だったと思います。モデルは立っているだけなのですが、着せる方はたくさんのお客様に見られて緊張してさぞ大変だろうなと思つて見てました。着せてる方の真剣な眼差しがとても美しく感じられました。いつか自分も着せる側が出来るようになるよう、これから稽古に励みたいと思います。とても楽しい体験をさせていただきました、ありがとうございました。

◆一般応募モデル

春木 直樹 山本 智晴
出雲 和人

◆学院モデル

大道 莖子 池田 昌生
山道 峰子 土田 かり
清水美奈江

◆舞台で結び

小林 美紀 福田二美江
竹ヶ端富美江 野崎 春美
坂本さゆり 杉原 友加
武原 雅子 清滝 晶子
三室有美子

◆唄

田中ひとみ 左近 清美

◆司会

石倉紀久子

◆スタッフ

久木満津美 吉田 利子
森 千代子 石川 勝子
浅井美智子 藤沢 久江
小沢 和代 伊采 弘子
藤巻 邦子 今井 公子
亀野千賀子 浦川 幸子
岡下 政子 深浦 米子
国田美栄子



「伊予紉」がすり

北原 峯子

五月、松山の総会出席の機会に伊予がすりに出逢うことができた。

かすりの柄には次のようなエピソードも伝えられているそうです。今より百九十年余りも昔のこと、伊予がすりの生みの母である鍵谷力ナさん（二十才位）が農家のワラ屋根の葺き替えの折に見かけた押竹を縛った跡のまだら模様に関心ひかれ、これを織物に表現したのが始まりとされたそうです。

日常の風景から自然の不思議な美しいものを見逃さず努力実行された様子に教わることの多い思いがしま

した。

又織機も菊屋新助と云う人が苦心を重ね改造し高効率の機を作り伊予がすりの急成長を支えたそうです。染も藍で染めることにより糸の強度を増し、香りには防虫効果があり着ている人にも野良に出て虫が寄ってこないそうです。天然の藍のみによる染めは全国でも極めてわずかで明治初期にドイツで生まれたインディゴ藍と天然藍を割建にする方法



が現在に踏襲されているそうです。先人の知恵と生産者のたゆまぬ努力が今に生きて私達の心にふるさつを感じさせてくれるのでしょうか。



伊予紉の製造工程

整経	精練	括り	染色	解き	柄合	たて巻	箆通し	織り
経糸を緯糸の本数と長さを決める	糸の強度を増すため糸を半日ほど熱湯で煮る	整経した糸の柄つけする部分を別の糸で括る	括り終えた糸を藍あるいは化学染料で染める	柄つけする部分を括った糸を解きはすすれないようにとめる	糸の柄部分を合わせ合わせる	柄部分と地の部分を合わせて「巻き」に巻く	糸を一本ずつ結びあやに通してから箆に通す	糸の柄を合わせながら高機または自動織機で織る

総会に参加して

昨年、七尾で開催された全国きもの指導者協会総会が今年度は、五月十五日(土)、愛媛県松山市で開催されました。

気持ちちは一年前

浅井 美智子

きものショーの演出が能見武正先生、振付け千秋芳子先生と聞き、なつかしく一年前の七尾での開催が走馬灯の様に頭を駆け巡りました。さて、基本着付の舞台です。ナレーターと言葉が会場に流れ出すと、サライフ七尾の舞台上に立っている七人の方々の姿が目につかなくて、気持ちは一年前に戻り胸はドキドキ目頭は熱くなり、感動しながらかきみ学院の皆様のショーを観てきました。また、千秋先生の美しい着こなし、きもの姿の表現など実演を交えながらの説明は、大変参考になり七尾の方へも来ていただけたら？と思いつつ文化会館を後にして美味しい旅、高知へのバスに乗りました。

着物フリーダム

市塚 桂子

ご縁がありまして総会に参加することができました。七尾で行われたときと今回で二回目の経験であります。それで七尾の発表と比べて、参観することができ、とても感慨深いものとなりました。

プログラムは二部に分かれていて第一部は基本着付けとその応用について表現していた。その中に「目くし着付」が手際よく着付のポイントを言葉を使わないで表現していたのが印象に残りました。そして「きものショー舞台裏見せます」で早変わりのすべてを舞台上で着付士の技の発表があり素晴らしいと思いました。第二部では着物フリーダムとして着物には色々な着物があつて色々な着こなしがある。また儀式的の着物は伝統を大切に、そして自由に伸び伸びとファッションとしての着物を楽しむ究極のきもの魅力は何かを見つけたいのであることを語っていました。大へん見どころのあるきものショーでした。



平成11年度

授与式&講習会

平成11年度、山原昌娃きもの着付学院の授与式&講習会が開催されました。

七尾（7月26日・七尾サンライフプラザ「中ホール」）、氷見（7月24日・富山県指定文化財「光久寺」）の両会場で、授与者一人ひとりに学院長が資格証を手渡されました。

講習会はファッションコーディネーター・千秋芳子先生の「きものできれいに歩きましょう」小松市レクリエーション協会副会長・伊藤 衛先生「髹の開きの三度笠」と題したリズムダンスが行なわれました。

千秋芳子先生による“きもの美人”となるためのひと工夫や歩き方、写真の写り方など女性としてのポイントを伝授、学習させて頂きました。千秋先生は元モデルさんだけあってとてもきれいな姿勢で歩かれました。姿勢だけで10才は若く見えると言われ、“美しく・若く”見える歩き方の練習を全員で行なったり、写真のポーズで気のきいたおしゃれが出来、言葉以上の大きな役割を果たすスマイルがポイントだとおしえて下さり、益々女性としての磨き加わり美しくなられた皆さんでした。

伊藤先生が本校の為に作られた創作リズムダンスは、とても楽しく出席者全員、時間の過ぎるのも忘れ、踊りに魅了されました。



新講師による模範演技

授与式に参加して
後藤 幸子
私が着付け教室に通う切っ掛けは、「自分で着物が何時でも



千秋芳子先生のご指導で美しく…

着れば」という単純な発想でした。職場からも近く健康センターの教室に申し込みました。最初は右も左も分からず、ただ、夢中の二時間でした。半年過ぎた頃、山原先生から「七尾の舞台で名古屋の手結びを」と言われ、恐い物知らずというか、無知というべきか「はい」と返事をし、当日は、先輩達の授与式の間も不安で胸が一杯、何を見ても上の空、ただただ自分の発表を早く終えて、安心したいそればかりでした。舞台の先輩の演技を見る余裕がありませんでした。今年は二度目の壇上でしたが、資格証を頂くだけという

事で、気持ちに余裕があり、新講師の方々の演技も、安心して見せて頂きました。着物を着た時の歩き方、姿勢の大切さも、お教えいただきました。「着物のいろは」も分らなかったのに、自分で着れるようになり、大勢の方達の華やかな技を見せて頂き、着物の良さ、美しさを再認識しました。山原先生の名前入りの揃いの浴衣も、ステキでした。来年は三度目の授与式に参加できれば良いなあと思っております。

山原先生、来年の幹事の皆様、素晴らしい舞台演出期待しております。



指導員の皆さん



伊藤先生と共に



氷見教室



氷見教室の授与式を終えて

実行委員 前山 良美

去る七月二十四日山原学院長、お客様をおむかえして新準師範・講師・指導員の授与式及び親睦会が開催されました。

まず、富山県指定文化財光久寺へ。本堂で住職のお話を聞き、部屋の方へ移動して、有名なお庭を眺めながらお抹茶をいただきました。この日はかなり暑く、風もなく、ゆかたや絹・紗の着物が汗だくになって大変でしたが、意外とお抹茶が一服の涼となりおいしかったです。

その後で授与式を行い、光久寺をあとにし、冷房のきいた宴会場（誉一山荘）へと移動。新講師による模範演技後、親睦会となりました。名調子の司会あり、唄あり踊りありと、芸達者な人達にかこまれて楽しい時間があったという間に過ぎてゆきました。皆さん、ありがとうございました。

秋深まりて

学院長 山原 昌娃

すすきの穂が白く重なり合つて、風にゆれていきます。麓の山々はまだ素知らぬ顔をしているようですが、確実に秋の深まりを感じます。

暑く、長かった夏もようやく沈まり、朝夕の気温の低さに季節の流れを知らされます。

昨年の五月には皆様の御支援をいただいて七尾で全国きもの指導者協会の総会を開催。そして、きものショーと大忙しの毎日でした。忙しさの中に楽しさがありました。皆さんと共に張りのある一

年だったと思います。

きものショーは、今までの総決算の思いもありましたので、今年は行事の度に、新たに、新しくと発想を巡らせて参りました。十一年続いた「初春創作帯結びコンテスト」を「初春の集い」に変更。創作帯を中心にしていたコンテストを帯結びだけにこだわらず「トータル之美」を求める方向へと動きました。

三月、準師範の一泊研修会は、雪割草の群生を見に門前町で。師範会、講師会と期末の会合で久しぶりにゆくりと語らいの時間が持てました。

私事ですが四月上旬、誘って下さる方があって、四国へお遍路の旅に。五年程前の続きを歩かせていただきました。

五月再び四国へ。協会の総会出席にて松山へ。翌日高知まで足を延ばして、想いいっぱいの「鯉のタタキ」に舌鼓。中村猶代さんのお世話で料亭『得月楼』にて優雅に。

先日七尾講師会と氷見教室の講師会が合同で勉強会を持ちました。七尾からバスで高岡へ。国宝の『瑞龍寺』を見学し、氷見へ。阿尾の民宿でこれまたすごいお料理、魚、さかなのもてなしでした。

合同の会は初めての試みでしたが大成功でした。それぞれの会の会長

さんのご苦勞あつてのことで、ありがとうございました。

十月に入り拾せの「きもの」の季節に入りました。うすもの・単衣に比べて、きものも帯も数多く箆筒に入っていることと思います。帯あげ帯じめの小物類の合せ方に、少しこだわってみませんか。自分らしく…。

深まりゆく秋にこそ、きもの姿は美しく映えることでしょう。歩き方はもうマスターしてますよね。座ったとき、座って何か動作をしたときにこそ、背中をシヤンと伸ばして指先にまで気配りを。この秋たおやかにきもの。



資格取得者一覧

準師範



谷内 伊規子
氷見市柳田九七一

着付を習い始めてから十数年。あつという間でした。今度、準師範という身に余る資格を授与させていただき、本当に嬉しく思っています。今日まで楽しく続けてこられたのも、良き先生と仲間に出会えたおかげだと感謝しています。

まだまだ、未熟な面がたくさんありますが、資格に恥じないよう、一層努力して行きたいと思います。



水瀬 あい子
氷見市針木一四六

十年余りの努力の甲斐があつて、この度、身に余る準師範の資格をいただき、諸先生方には深く感謝いたしております。『準師範』という響きに、胸に熱いものがこみ上げて来た気持ちをいつまでも忘れず、今後はその名に恥じないよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

講師



二口 富子
河北郡高松町字高松ミ5-3

講師の資格を取ろうかな、と決めて三年。色々な事がありました。今年ががんばって資格を頂きました。家庭の主婦が何かに挑戦するには、家族の協力があつてこそと感謝、先生方々にも感謝、友達にも感謝して、これからも頑張っていきたいと思ひます。



宮本 瑞江
河北郡高松町二ツ屋

一人で着物が着られたら、の思いで習い始め、先生方の熱心な教えや教室の皆様の陰で講師資格まで戴き、感謝の気持ちでいっぱい。色々ありましたが、これからも出来るだけ着物にかかわって行けたら、と願っています。



山口 ユミ
金沢市横川3丁目299番地

「娘に振袖を着せたい。」と思い立ち、ここまで参りました。着付は楽しいけれど奥深いということが、少し分かりかけてき

ました。講師の資格を頂き、更なる精進に励みたいと思っております。皆様よろしくお願ひします。



数井 亜紀
石川郡野々市町栗田2-261-2

「浴衣を一人で着れるようになりたい。」と思つて始めた私でしたが、講師の資格まで頂くことができ、本当に嬉しく思っています。これからは、一人でも多くの人に着付けの楽しさ奥深さを教えていけたらと思っています。



尾谷 志保
金沢市大桑町平42-29

「着る喜び」から「着せる喜び」、そして「教える喜び」を得るチャンス。を、手にすることができました。どんな場合にも初心を忘れず、丁寧で的確な、判断ができる様日々努力したいと思ひます。



野村 奈央美
石川郡野々市町御経塚町

自分で着物を着たい、着せられたらいいなと思つたのが着付を始めたきっかけです。なかなか覚えられず、先生方にもお世話になりました。

これからは、講師として素敵に着物を着こなせる様に頑張りたいと思ひます。

日本の伝統美を創造する

しょうび
帯ときもの 小美

代表 小野 敏子

和装 しみぬき 仕立て直しなど
どのようなことでもお申付け下さい
お待ちしております

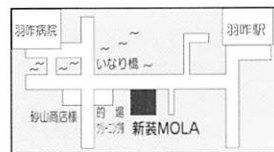
金沢市百坂町ハ27-4 でんわ 076-257-1358

高級呉服・寝装
結納品一式
洋品・宝飾

きもののパートナー...



羽咋郡志賀町字高浜町
☎(0767)32-1141(代)



支店
LADY'S MOLA

羽咋市市場町 TEL22-3226



松田 恵子
金沢市藤江南三丁目一六八

七月十一日京都で講師の試験がありました。手に汗を握ると言うのはこんな事かと感じましたが、無事合格する事が出来感激しております。日本の美、着物。これからも着物を愛し、着物の良さを多くの人に伝えていきたいと思っています。



小野 敏子
金沢市百坂町八二七―四

小さい頃より母の仕立の仕事を見て育ち、自分も又職業にまでなってしまう現在です。日本人にとって着物は世界に誇る装いの文化です。その着物を皆さんが一人で着る事が出来る様に、教えてあげられたらと思っています。



飴谷 喜美子
河北郡七塚町木津イ三三一

自分で着物が着られたら、との思いで着付教室へ通い始めましたが、この度は思いもかけず講師の資格を頂き本当にありがとうございました。これも山原先生はじめ教室の先生のおかげです。資格に恥じないよう頑張ります。



清水 芳江
金沢市足田二丁目二六九

試験会場での緊張感は生まれて初めてのものです。合格してうれしさもひとしお。着物をきれいに楽に着れる喜び、先生と一緒に頑張った人達との出逢い。礼儀作法の一つ一つが私の宝物です。



竹村 明子
河北郡津幡町字竹橋テ68

着物のたたみ方も知らなかった私ですが、男の子一人、女の子二人の母となり、浴衣一つ着せてやれない自分が情けなくなり、着付を習い始めました。今まで続けてこれたのは、ひとえに家族の協力のおかげです。ありがとうございます。



土田 かおり
鹿島郡田鶴浜町大津

自分で着物が着たいと思い、習い始めた着付教室。講師資格取得も大変感激しましたが、着物を通して沢山のひと出会えた事が一番嬉しいです。今後も講師の名に恥じぬよう腕を磨き、楽しみながら勉強していきたいです。



丸吉 ひとみ
羽咋郡押水町

自分で着物が着られる様子が、講師の資格を得るまでに至るとはとても幸せです。今後着物と私は一心同体。忘れることなく続けて行きたいと思います。お世話になった山原先生をはじめ、諸先生、同期生のみなさんこれからもよろしくお願い致します。



小山 博美
鹿島郡鳥屋町良川

講師を目指し、習い始めて九ヶ月。特訓の成果があつて資格を取得する事が出来ました。これも先生方のおかげです。ありがとうございます。これからも頑張りますのでよろしく願います。



藤沢 豊子
鹿島郡鹿島町二宮口部115

無器用な私。教室の中でも一番落ちこぼれだと思っていただけに、合格の知らせを受けた時は感激もひとしおでした。これも諸先生方の熱意あるご指導の賜物と感謝しております。今では、着物を着る楽しみを覚えました。

お買百万石 伝統の深い味わい

松下食品株式会社

金沢市湊3丁目29-2 TEL 076(237)5652 FAX 076(237)5649

マジジュール
ガット・パーマ
美容室 **Majeur**

平常 9:00~19:00
定休日 毎週月曜・第三日曜
貸衣裳・着付承っております

羽咋市南中央町
☎ 22-5957
☎ 0120-225957

金守
洋装の

代表 金守 肇

〒929-1344 石川県羽咋郡押水町今浜-312
TEL (0767) 28-2102

細巾ゴム入織物

北陸ウェブ株式会社

石川県河北郡七塚町木津

TEL (076) 283-5111

FAX (076) 283-5112



岩城 孝子
七尾市下町ラ部二三—一

自分で着物が着れるようになりたいと習い始めた着付が人に着せる事や、講師の資格まで頂けるとは思ってもみませんでした。これも先生方や教室の皆さんのおかげです。これからも勉強しながら楽しんでいきたいと思っています。



國田 美栄子
七尾市古府町三三—三

子供の頃から着物が大好きで、教室に通うまでは見よう見真似で身にまといて来ました。着て喜び、着せて喜んでもらいたく目標をもって始めました。頂いた資格を大切に初心を忘れず頑張っていこうと思っています。



山道 峰子
七尾市山崎町

親に何か習い事でもと勧められた着付ですが、今ここに講師の資格を頂き、自分でもびつくりしています。また、着付の奥の深さを実感し、ひとつでも多く、自分のものに出来るよう勉強していきたいと思っています。



天池 史江
七尾市飯川町

せっかく日本人に生まれてきたから着物を着られるようになりたい。というきっかけで着付を習い始めて、講師資格を頂き本当に続けてよかったと思います。これから講師資格に恥じないように精進したいと思います。



亀野 千香子
鹿島郡鳥屋町廿九日ト—28

娘の着物を一枚一枚揃えている時、着物に魅せられ、歌謡舞踊と出会い着付を習い始めました。お陰様で講師の資格を頂き心から感謝致しております。緊張と感動を胸に今後も素敵な仲間と共に努力を重ね次の夢に向かって頑張りたいと思います。



今井 公子
鹿島郡鳥屋町良川レ部十一

合格通知を貰い頭に「不」が付いていないか何度も見直しました。踊りのサークルに入り自分で着物が着れない恥ずかしから着付を習い始めました。今だに満足に着れませんが今後は身を引き締め、復習と勉強に励みたいと思います。



浦川 幸子
鹿島郡鳥屋町末坂

講師資格を頂いて……
一、家族が理解してくれるようになった。
二、いいかげんに習っていた気持ちが、そうはいかなくなつた。
三、着物についてもっと知りたい、見たい。
四、着物への関心をもつ人を増やそうと考えてみたい。



山田 昭子
氷見市十二町

自分で着物を着て、周りの人にも着せてあげたいという気持ちから着付を始め、四年が経ちました。自分の手に自信を付けたくて講師科受験を決意しました。これからも和服を、普段の生活の中で楽しみたいと思っています。



森下 千歳
氷見市中波

着物が好きで、何とか自分で着られるようになりたいと教室に通い始めて、三年が過ぎました。まだまだ未熟者ですが、今年、講師という資格を頂き、改めて、これから頑張っていこうと思っています。

カネボウ チェーン店
エステの店 こうべ

鹿島郡鹿西町能登部上
(鹿西高校前)
TEL (0767) 72-2345

ギャラリー 映茶

〒935-0016 富山県氷見市本町3-6
TEL (0768) 72-4020

センスアップで
着こなし美人!

おしゃれストア—
みうら

鹿西町のとべ
TEL 0767-72-2241
FAX 0767-72-4055



〒926-0855
石川県七尾市小丸山台3丁目21番地1
TEL・FAX (0767) 52-5028



取扱品

- ・高級呉服
- ・陶器 贈答品
- ・和小物グッズ
- ・洋服 服地 バッグ 宝石



東 悦子
氷見市泉二五一六

自分で着物が着れたら、帯が結べたら
と思い習い始めた着付。良き先生の御指
導と良き仲間達に恵まれ、講師資格を取
る事が出来、感謝の気持ちでいっぱい
です。今後も先輩や仲間達と共に勉強し
ていきたいと思っています。



河原 悦子
氷見市加納一五

数年前に途中で断念しあきらめていたの
ですが、今回再挑戦する機会を持つことが
でき、ようやく講師の資格を頂くことが
できてとてもうれしく思っております。これ
からも精進を重ね、がんばっていきたく
思います。



尾越 直美
氷見市泉六九一一

このたび、講師の資格を頂いたことは、
これからも着付の勉強を続けて行く上で、
何よりの励みになります。
素晴らしい先生と良き仲間との出逢いを
心の財産にして、尚一層努力して行きたい
と思います。



浜元 雅美
氷見市小杉二四一

母が持たせてくれた着物がタンスの中
で眠ったままなので、せめて自分で手入れを
と思ったのが始まりでした。着物は母から
娘、孫へと続く伝承文化だと思います。私
もその流れの中の一人として、務めを果た
したいと思っています。



嶋 正美
氷見市島尾二八九八

一人で着れるようになり、少しずつ奇麗
に着れるようになった。又、着物姿の人に
自然と目がいくようになった。三ヶ月と思
っていたが、お陰様で続けられた。年を重
ねることに着物のにあう人になりたい。そ
して、少しでも人様に重宝がられたらと思
う。



資格試験

指導員資格取得者一覧

仲谷理香子
五十里安津子
屋敷 真弓
川嶋 孝子
千場 好美

森越 友子
川嶋 静江
小川小百合
堀内 理江
山口 琴美

岡下 政子
山多千賀子
開発千賀子
宮窪 美果
瀬戸 和美

村上 恵子
小坂 幸代
江成 雅美
加賀奈津子
岡 豊子
小山 豊子
新田まゆみ
北野 美和

道坂ひとみ
松林喜代子
時女外志子
浦 由記
松本 知子
後藤 幸子
藤田百合子
西尾 恵子

今村 有希
上野 聡子
北村 昌代
室宮 和子
森田 良子
谷口 洋美

アメリカンビザハウス
コーヒー&レストラン
HELLOW DAY'S
CALL 22-7378
羽咋市深江町20-5 〒925-0022
営業時間●AM10:00~PM8:00 (オーダーストップPM6:30)

いつも新鮮な魚を食卓に...

操川鮮魚店

羽咋市市場町 ☎(0767)22-0412

未来基準へ
イノスの家

ライフクリエート
有限会社 **住宅企画**

〒925-0054 羽咋市千里浜町イ109番地
TEL (0767) 22-8600
FAX (0767) 22-8601

ひまわりチェーン
浜井フードセンター

氷見市島尾駅前通り
TEL 91-6030
夜間 91-1318

真多呂人形と

帯結び展

H11.5.22
北陸中日
新聞掲載



開幕を祝いテープカットする関係者
たち＝七尾市本府中町の池田家で

七尾港開港百周年・七尾市制施行六十周年を記念した市文化協会趣芸部会の所屬三団体が初めて合同展示する「真多呂（またろ）人形・帯結び展」は二、十一日、同市本府中町の池田家で始まり、和の趣向を凝らした約百点の作品

や五月人形などが飾られた。山原昌娃きもの着付学院による創作帯結びでは、同学院長で、中日文化センター講師を務める山原昌娃さんの指導で生徒が仕上げた能州つむぎの着尺に日本刺しゅうやパッチワーク、押し花などを施して作ったアイデア帯が並ぶ。北陸京都市の総合学院は、長じゅばんのそでをカッとして、ワンピースにしてそでを花のようにワンポイントとして飾る作品や、着物の色揚げした部分に鮮やかな布を張り、現代風にアレンジした「リフォームきもの」を展示している。初日は、関係者がテープカットして開幕を祝い、来訪者には茶菓子も振る舞われた。



真多呂人形・帯結び展に 参加して

実行委員 森 千代子

なんとも素晴らしい真希の会の真多呂人形、北陸京都市の総合学院の作品、そして山原学院生手造りの京帯と帯結び、初めての合同展でした。

会場が池田家のためか平素文化協会に関係のない近所の方を含め多くの方々にご覧いただきましたことは大変有意義な企画であったと思います。



「動かない作品に感動!!」

実行委員 織田しずえ

さわやかな天候に恵まれ、七尾市文化協会趣芸部会（山原昌娃きもの着付学院、北陸京都市の総合学院・真希の会）三部会が合同発表会を催す事は初めてであり、実行委員長である山原昌娃学院長は大変だった事と思います。

早速、葉書き、ボスター、そしてお茶席等と密な計画をたて役割分担しました。

真多呂人形ときもの、それぞれ違った作品展であり、作品が違っていた事によって今迄に得られなかった動かない作品のむずかしさ、そして合同であったから今迄気づかなかった新しい発見が出来た事は大変よかったと思います。又、皆様との楽しい出逢いの中で多くの方々に見賞していただき、無事成功出来たよこびを皆様と共にわち合いました。

お食事・手作りケーキの店

きっさ
紅

小宴会も
受付けします

〒935-0027
富山県氷見市大野新94-2
phone 0766-74-1584

確かな施工
一級建築設計施工

池田 建築

代表 池田 寛

鹿島郡鳥屋町良川 ☎ (0767) 74-1985

北陸電力公認



電気工事一般

フタクチ電設工業株式会社

石川県河北郡高松町字高松ミ5-3
TEL (076) 281-1918(代)
FAX (076) 281-3128
〒929-1215

去る五月二十一日、山原昌娃きもの着付学院の帯結び展を見せて貰った。市の文化協会がある池田邸を開放しての催しであった。

テープカットをしたからヨイショをしようというのではないが、小じんまりした発表会ではあったが、会場全体にぐーんと来る空気があった。斬新さはあるものの違和感がない。ことさらにうつつている風もない。それぞれが極く自然な中に重厚な美しさ、軽快な美しさ、簡素な美しさを求め、古きをたずねて新しい美を追及しているかのようであった。正直言つて、こういう世界には疎かったたので、招かれた時、ちよつとためらったのであるが、結果的にいいものを見せて頂いたと喜んでいい。

私は文化協会の端っこに名を連ねているのでお呼びいただいたのであろう

が、実は山原先生とは古い面識がある。ある大手の会社の七尾支部に事務をとつておいでた頃、私もその会社の嘱託医だったので、毎月よくちよくお目にかかったり、電話を受けることがあったのである。その頃の山原先生はいつも遠慮がちに言葉を選んで話すしとやかな事務員として私の目に映っていた。然しいつの頃からか気がついたらそのおとなしい姿は会社から消えていた。

それからどれくらいの時間が経ったのだろう。数年前、市の文化協会で「舞台音楽劇ザ・シーサイドマンヨール七尾」を上演することになった。七尾はもとより近辺の市町村や金沢の劇団などからも参加があり盛大に幕を開けたのであるが、その中であつて一際華やかさを見せてくれたのが、山原昌娃きもの着付学院だった。

山原先生を中心にした学院の皆さんのもたらした舞台効果は音楽劇にふさわしい而も内容のあるもの

雑感

山原昌一

で単なる衣装の着付けから脱却し、それは芸術性の高いものであったので、あの万事控え目で穏やかだった人のどこにこんなすばらしいエネルギーがと首をかしげたくなる程堂々たるものであった。「能ある鷹は爪を隠す」という。私は山原先生のすばらしいセンスと指導者としての能力に、あらためて感心したのであった。先般の池田邸での帯結び展でも来訪者の心に響く何ものかを感じたのは恐らくこの美的センスと秘められた力から来ているに違いない。

話は違うが「香道」をやっている人達は香りを嗅ぐことを「香りを聞く」という。鼻から入る香りをどうして聞くのかと思うだろうが、それは当っていない。香りをほんとうに嗅ぎ分ける時は心の耳を澄ませて「聞く」という感じになることを言っているのである。

私はみなさんの着付けられたものを見た時、不図「聞香」にも似た気分になった。着物に香が焚き込まれてあるとかなんとかと言っているのではない。目を通してそんな感じを持つたのである。変な造語だが、

いわば「香りを見る」とでも表現したらいいような気分を味わったと言えばよからうか。楽しい香り、しつとりとした香り、涼しい香り、甘い香り、しつかりした香り、やる気を出す香り、心の落ちつく香り、そんなものがどこからか漂ってくるような雰囲気会場に漂っていた。

色々な着物がある。その種類は数え切れないだろう。それぞれの用途を活かした着付けが時と場所に応じて求められようが、私は好ましい香りにも似た感じを与えてくれる着付けが好きだ。

山原きもの着付学院とそのグループの皆さんには着物文化のいい雰囲気もこれからも引き続き醸成し、広げていっていただきたいと願っている。



七尾市文化協会の御協力を頂いて、合同展を開くことが出来ました。当学院では、時間をかけて創作した京帯を出品しました。会場の都合もあり1/3の作品しか展示出来なかったのは残念でしたが、自作の帯を身につけお迎え致しました。

夏を思わす暑さでしたが、池田家のお庭の緑が一服の涼となり三日間私達も楽しませていただきました。

学院だより

◆「桜まつり」によせて

花見は着物で

神野 律子

稲穂も風にゆれるこの頃、季節の移ろいのはやさにおどろきます。

春四月、小丸山公園にて「桜まつり」が開催され、我が学院講師会からも※名古屋帯の手結び、※二人組で同じ帯結びを名古屋と袋帯各々で結び、その違いのおもしろさを演出してみました。仮設のステージの袖にも満開の桜が咲きほこり、花の香漂う中での着付ショーは華やかで心地よいひとときでした。自分の為に、自分の時に袖を通す機会が増えれば良いのにな。そして『来年の花見は着物も悪くないぞ……』少しは着物の良さをアピールするお役にたてましたでしょうか？それと当日は呉服店様より着物の方のみにおみやげ（今年はストレッチ足袋）がでておりました。是非来年いかがでしょうか？こうして参加出来る事を何よりの喜びとし、声かけ合う仲間の居る事を財産にこれからも参加させて頂きたいと思っております。

桜吹雪の下で 谷 直子

前日は大雨で心配しましたが当日は、朝から天候に恵まれ春爛漫。さわやかな風と共に、桜の花びらが舞い降りてくる日に、七尾の小丸山公園の特別ステージで帯結びを見ていただきました。まず、山原先生の説明で四人が名古屋帯を自分の背につけました。次は七尾講師会の出番。二人ずつ四組で名古屋帯と袋帯です。各自で創意工夫したものを相手の背につけました。舞台に上られた皆さんの顔が桜吹雪の下で輝いていました。



◆桜まつり参加者名

三室有美子・酒井 明子・山道 峰子・國田美栄子・小沢 和代
神野 律子・薮田由紀子・小林 美紀・石井美千子・坂本さゆり
松田ひろみ・垣地八重子・野崎 春美・谷 直子・浦辺可代子

◆「作法とは相手を思う気働き 今なすことに心つくして」

吉田 利子

六月二十日「日本現代作法会」篠田弥寿子先生のマナーの勉強に出席させて頂きました。

暮しに役立つ動きと形。

各教室代表の生徒発表も全員参加のトライ、レッスンもすべて実技中心でした。とってもわかりやすく充実した一日でした。私達はどんなに着物が上手に着られ形が整っても、学ぶ態度をたえず謙虚に気働きを心がけ子孫へと伝えてゆきたいと思いました。（山原 昌娃・三浦 一枝・浅井美智子・宮島まり子・豊蔵政子・毛利三都子・吉田 利子）

◆フォーラム七尾文化祭 “帯結びに参加して”

國田美栄子

今回参加して、帯とはなんと不思議な布だろうか？古い、新しいも結び方と着物とのバランスによって、素晴らしく、生かされてくる事を再認識しました。それと会場に足を運んでくださった方々が、帯結びを見ながら、お互いに思いを語っている声を直に聞けた事は、とっても勉強になりました。又、機会があったら参加したいと思っています。



◆師範・準師範の勉強会

松井 吉子

九月十九日、京都より、北村和子先生をお招きしての師範・準師範勉強会であった。



勉強会が、フォーラム七尾で行われた。
“教える立場では気配りと気遣いの出来る人”

“季節に合った着物を着る”などの講義と袋帯の実技。

盛り沢山の内容であったにもかかわらず、全員が普段とは違う真剣な眼差しで参加していた。

それは、先生が研究熱心で説得力があり魅力あふれる素晴らしい話し方をされる方だったからである。

この勉強会で私達は、明日へのエネルギーと希望と夢を得ることができ、感謝の気持ちでいっぱい勉強会であった。

◆お母さんのきものを使って 「母の装い・娘の装い」

山原 昌娃

九月二十三日、七尾サンライフプラザ・フェスタに七尾講師の会として出展。お母さんのきものと帯を使って、お嬢さんの装いを表現するということがテーマ。補正・衿合せ・帯の位置・帯揚げなど、母の装いと差が出るように着つけをしました。帯は名古屋帯で、母はお太鼓、娘は文庫結びにしました。



◆総おどり

松田ひろみ

七尾の住民になって数十年、初めて、総おどりに参加しました。当日は、天候にめぐまれ、観客少々、おどりの美男美女三〇〇〇人が、一斉におどりました。生演奏による七尾まだら、そして、CDでの港よいさ、二曲のみです。皆そろっています。とても、素敵です。私も、この中の一人なのです。

時間が経ち、曲が終る頃には私は、完ぺきなおどりになっていました。が、数日が過ぎますと、あのおどり子どこへ……。全て忘れさっています。

だけど、一汗かいた後の、あのビールの味は、忘れられません。おいしかったです。来年も必ず飲み、いや、総おどりに参加させていただきます。



◆総おどりゆかた 着付ボランティア

今年も市民総おどりの折、労働会館、商工会議所、パトリアの三ヶ所で市民の皆さんのゆかたの着付けをお手伝いしました。

山原 昌佳 浅井美智子 坂本さゆり
松田ひろみ 宮本 純子 福田二三江
佐野 啓子 谷 直子 上島佐洋子
小沢 和代 石井美千子 小林 美紀
卜部 和子 山本由美子 福田 公枝

●平成十一年市民総おどり参加者名

山原 昌佳 久木満津美 森 千代子
藤沢 久江 松井 吉子 三浦 一枝
浅井美智子 古田わか子 谷 直子
石井美千子 松田ひろみ 佐野 啓子
小沢 和代 山本由美子 卜部 和子
福田 公枝 川本美千子 清水 厚子
堀 一江 宮下みゆき 寺島 玲子
今井 公子 亀野千香子 浦川 幸子
岡下 政子 島元 博子 宮島まり子
毛利三都子 棚田 啓子 土田かおり
山道 峰子 小山 博美 藤沢 豊子
岩城 孝子 國田美栄子 山口 真澄
清瀧 晶子 大道 茎子 池田 光子
伊藤 弘子 吉川美也子 浜崎 節子
井田瑞未子 田畑三恵子 尾田 豊子
三室美代子 酒井 道子 浅瀬由喜子
水野 芳子 畑 美智子 中村 晴子
滝中きみ子 岡馬 幸枝 西田久美子

以上 五七名

「翔・山原昌佳きもの着付学院」のブラカードを持って早くから立って下さった役員の方。仕事を終えて、かけつけていただいた皆さんお疲れさまでした。

◆ザ・シーサイド万葉のボランティア



ザ・シーサイド万葉、中能登舞台音楽劇「七尾城物語」が十一月二十二日、七尾サンライフプラザで行われ、学院からも着付、お化粧、その他のお手伝いで参加。前日はハーサルをして当日は朝八時から打ち上げまで……。お疲れ様でした。(山原 昌佳・久木満津美・森 千代子・浅井美智子・小沢 和代・石川 勝子・宿谷 弘子・左近 清美・山下 珠美・畑中 芳子・浦辺可代子)

◆池田家ボランティア

日頃、着付の勉強会や会合に使わせてもらっている池田家のお庭の草むしりをしました。
(小沢 和代・佐野 啓子・卜部 和子・清水 澄子・山本由美子・上島 悦子・谷 直子)

※表紙の写真は、山梨県「田貫湖」で撮影した「ヤマユリ」です。近在では「石動山ユリ」が有名ですが、乱獲により野性種は、幻の花になりつつあります。

七尾市府中町在住の写真家、鳥木茂氏の作品を掲載させていただきました。ありがとうございました。

【行事予定】

・十一月三日
七尾フォーラム文化祭(パトリア)
・十一月七日
着付士最終授業(金沢勤労者プラザ)
・十一月十四日
「シーサイドマンヨ」 衣装着付ボランティア(七尾サンライフプラザ)
・十一月二十一日
連鎖校勉強会「現代マナー」
・平成十二年一月二十三日
初春の集い(和倉あえの風)

編集後記

今年の夏は、異常な猛暑と殺伐としたニュースなどが聞かれましたが、もうすっかり朝晩が涼しく、秋の草花が風に吹かれるのを見ると「ほっと」する今日この頃、山にはきのこも採れ始めたとか! (柏原) 今号より、編集に参加させていただきます。一冊の機関誌が発刊されるまでの工程は、私にとって未体験ゾーン。委員会の日が、毎回来しみでした (尾越)

・編集委員

柏原登代美 堀井 紀子 坂本さゆり
浦辺可代子 池田千鶴子 尾越 直美

発行 第五号 平成十一年十一月一日発行
全国きもの指導者協会認定校
山原昌佳きもの着付学院

〒926-0806 七尾市藤橋町寅二二六-一
TEL (〇七六七) 五二二一六二五
FAX (〇七六七) 五二二七五五六
編集 翔 編集委員会
責任者 山原昌佳
印刷 フタバ印刷株式会社
〒926-0806 七尾市飯川町き部三五番地
TEL (〇七六七) 五七一三〇〇

—— ころの時代21世紀 ——

『やすらぎの和風感性を求めて……』

21世紀は、新しい創造とやすらぎの時代と言われています。知らず知らずに、
私達は、「やすらぎの和風生活」を求めているのです。

◆ 春直呉服店

七尾・中央通 ☎ 53-0423

きもの女性も応援します。

安心きものの店

呉服の老舗

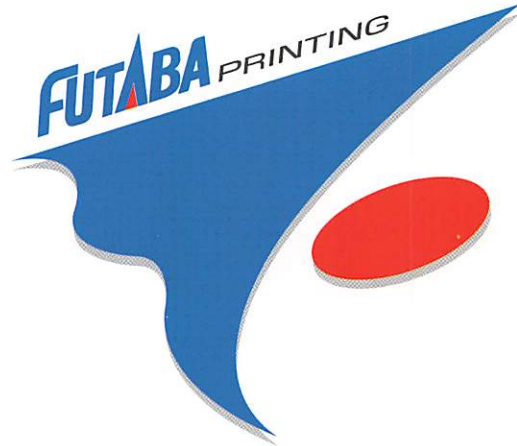


大若本店

一本杉店 石川県七尾市一本杉町111番地
〒926-0806 TEL (0767) 52-3700(代)

FAX (0767) 52-3702

アル・プラザ店 石川県鹿島郡鹿島町井田
〒929-1721 TEL (0767) 76-2500



デザイン／印刷／マルチメディア

フタバ印刷株式会社

七尾市飯川町き部 35 番地
TEL (0767) 57-3100 FAX (0767) 57-1547